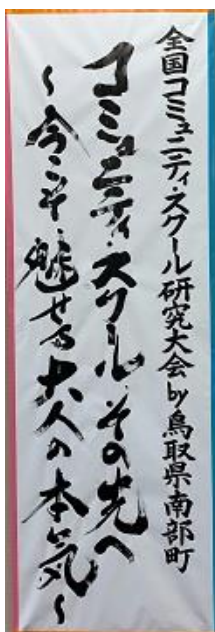


## 全国コミュニティ・スクール研究大会 by 鳥取県南部町 地域とともにある学校づくり推進フォーラム 2023 南部町を終えて

鳥取県南部町 教育長 福田 範史

まず、本年1月1日に発生した能登半島地震で亡くなられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、今なお被災生活を送っておられる方々にお見舞いを申し上げます。

さて、2023年12月15日に開催した全国コミュニティ・スクール研究大会 by 鳥取県南部町では、大変多くの皆様にご参加いただきありがとうございました。前回の玖珠大会を引き継ぎ、対面とオンラインのハイブリットでの開催としたところ、対面参加で866名、WEB参加で796名、合計1,662名ものご参加をいただきました。



会場の都合で12月開催となり、議会の日程と重なるなど厳しい条件下ではありましたが、私だけでなく陶山町長や景山町議会議長をはじめとする町の関係者、町内のコミュニティ・スクール関係者、社会教育関係者、さらには学校・家庭・地域の多くの方々の協力をいただき、準備から当日運営まで一丸となって取り組みました。人口約1万人の南部町ではありますが、「南部町を全国発信できるチャンス」、「コロナで停滞した本町のコミュニティ・スクールのリスタート」と捉え、南部町実行委員会を中心に町を挙げて、心を込めてお迎えすることができた実感しております。

今回の研究大会は、「コミュニティ・スクールその先へ ～今こそ魅せる大人の本気～」というテーマで開催しました。コミュニティ・スクールの導入率も5割を越えてきたとはいえ、すでに導入から一定期間経過した地域、導入間もない地域、未導入の地域がある中で、今こそ、その質が問われていると認識していました。そこで、今大会では、それぞれが今一度、コミュニティ・スクールについて正しく理解し、その成果と課題についてそれぞれの立場で情報を共有できる機会を提供することをねらいとしました。

午前の事例発表を通じてコミュニティ・スクールのしくみを紐解き、午後のパネルディスカッションでは立場による捉え方を深掘りするとともに、その後の各分科会においては、CSマイスターの助言を得つつ、県内外の事例を数多く展開しました。アンケートでは多くの好評価をいただく中で、第2～5分科会についてもWEB配信を希望する声が多かったことも、南部町が誇る高校生や青年団の活動をはじめとした各事例に今後の新しい展開を見出そうとする想いの表れと捉えています。

大会の終わりには、次期開催地の金沢市様へバトンをお渡ししました。関係者の皆様のお力によって、今後も本研究大会が、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしつつ有用感を醸成し、その地域に根差した地域ならではの教育が展開されることに寄与し、これからの予測不可能な時代を生き抜き、自らの手で地域に関わり新たな時代を築く若者の育成に繋がっていくことを願ってやみません。

結びに、今回の開催にあたり、格段のご尽力をいただきました文部科学省をはじめ、全国コミュニティ・スクール連絡協議会、鳥取県教育委員会、さらにはご後援いただいた各種団体、すべての大会関係者に心より感謝するとともに、参加された皆様方の今後のご健勝とご活躍を心よりご祈念申し上げます。

# 全国コミュニティ・スクール研究大会 by 鳥取県南部町 コミュニティ・スクールその先へ ～今こそ魅せる 大人の本気～

## 午前の部 ～開催行事・行政説明／事例発表～

### 【開会行事・行政説明】

主催者挨拶として、全国コミュニティ・スクール連絡協議会 貝ノ瀬滋会長、鳥取県教育委員会 足羽英樹教育長、歓迎のことばとして開催地である南部町 陶山清孝町長がご挨拶されました。また来賓として、参議院 赤池誠章議員、東京大学 鈴木寛教授、全国子ども会連合会 美田耕一郎会長よりお言葉をいただきました。その後、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けて、コミュニティ・スクールの有用性やコミュニティ・スクールの導入率など文部科学省より行政説明がありました。

### ■挨拶をする貝ノ瀬会長



### ■左から新居校長、水嶋課長、田丸協働活動統括推進員、原会長

会議の立ち上げ  
確に学びの方向性を共有できることを期待  
との目標とテーマが明確になった  
や学校運営協議会に浸透しない



### 【事例発表】

山口県長門市立深川中学校 新居淳治校長から依山・深川みずゞ学園の取組について、南部町教育委員会総務・学校教育課 水嶋志都子課長、南部町教育委員会 田丸睦悌協働活動統括推進員、南部町法勝寺中学校区学校運営協議会 原和正会長から、地域とともに歩む学校づくりとして南部町のコミュニティ・スクールの事例の発表をしていただきました。また、この取組について山口県美祢市立大嶺小学校相田康弘校長に講評していただきました。

## 午後の部 ～パネルディスカッション～

### 【パネルディスカッション】

鳥取県立日野高等学校郷土芸能部より、アトラクションとして、荒神神楽が披露された後、パネルディスカッションが行われました。国立教育政策研究所 志々田まなみ総括研究官をモデレーター、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター 石津峰社会教育調査官をグラフィックファシリテーターに、東京学芸大学 柴田彩千子准教授、鳥取県日野町

### ■アトラクションの荒神神楽



### ■パネルディスカッション 石津社会教育調査官



立日野学園 砂流誠吾校長、茨

城県牛久市 根本洋治前市長、南部町教育委員会 福田範史教育長をパネリストとして「コミュニティ・スクールのその先に期待すること」をテーマに話し合われました。これまでの取組、コミュニティ・スクールの波及効果について、さらにこれからのコミュニティ・スクールに期待する姿について話し合わせ、対話と可視化を通してコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施の必要性や良さの整理が行われました。



## 午後の部～分科会～

### 第1分科会「地域とともにある学校づくり小学校・中学校」

支援から協働へ未来を拓く地域貢献活動を副題に、鳥取県伯耆町のCS活動の実態と町の教育、地域貢献活動の推進、今後への期待と課題についてご発表いただきました。また、社会に開かれた教育課程の実現として、大阪府立富田林中学校のアントレプレナーシップ提案型探究の事例や子どもの声を、多彩な映像でご紹介いただきました。

### 第2分科会「地域とともにある学校づくり高等学校・特別支援学校」

熊本県立小国高等学校の学校運営協議会についてご発表いただきました。高校生のアイディアによる地域活動については、会場の興味を引き質問もでていました。また、岡山県立東備支援学校での、地域との協働活動を通じて子どもたちの学びの広がりや深化についてご紹介いただきました。

### 第3分科会「学校を核とした地域づくり」

益田市が目指すコミュニティ・スクールである、学校を核とした地域の創生に関連して、豊川小学校の事例などをご紹介いただきました。

### 第4分科会「教育行政」

コミュニティ・スクールの導入や充実に向けて教育委員会の伴走支援について、コーディネーターの配置、各中学校区学校運営協議会の教育委員会内の情報共有、教育委員会による研修会などのご紹介をいただきました。

### 第5分科会「社会教育」

コミュニティ・スクールで育った子どもたちによる高校生サークルや青年団の活動を知り、今後の可能性について考えるとともに、会場内でグループ協議を通して、若者への期待と、大人への期待をすり合わせ、地域づくり自分づくりについて考えました。

## 全国コミュニティ・スクール連絡協議会 総会・熟議

全国コミュニティ・スクール研究大会 by 鳥取県南部町の前日に総会が行われ、報告事項や来年度開催地挨拶が行われました（今回の総会では議決事項はありませんでした）。総会後には、「教育振興基本計画」や「令和5年度コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査」を踏まえ、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動に関する最近の取組状況や課題の共有」をテーマに教育長熟議を行い、各教育委員会での取組を共有しながら、コミュニティ・スクールの拡充に向けた意見交換をしていただきました。

■開催地挨拶の様子 鳥取県南部町福田教育長



■熟議の様子(現地会場にて)



# 令和6年度「全国コミュニティ・スクール研究大会 in 金沢」の開催を迎えて 金沢市教育委員会 教育長 野口 弘

本年1月1日に能登半島において地震が発生し、多くの方々がお亡くなりになりました。まずは、犠牲になられた方々に衷心から哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。地震発生以来、全国の皆様からあたたかいご支援をいただき、心から感謝を申し上げます。私たちも地震による被害からの一日も早い復旧、復興に向けて全力で取り組んでまいります。

さて、来る1月8日（金）に金沢市において全国コミュニティ・スクール研究大会を開催させていただくことになりました。学校や家庭が抱える課題がますます複雑で困難なものになっている中で、この全国コミュニティ・スクール研究大会は、地域とともにある学校づくりを後押ししてきた大変意義深いものと認識しており、このたび金沢市で開催させていただくことは、誠に光栄なことと受け止めております。

金沢市では、平成28年度にモデル校を指定してコミュニティ・スクールの取り組みを始め、平成30年度からは全小学校、令和2年度からは全中学校が学校運営協議会を設置しております。コミュニティ・スクールのさらなる充実に向け、先進的な取り組みのご紹介や全国各地の皆様との意見交換を通して、たくさんのご教示をいただける貴重な機会になるものと楽しみにしております。

次期開催地である金沢は、加賀百万石の城下町として栄え、藩政時代からのまちなみや建造物が残り、伝統文化がいまなお市民の暮らしに息づくまちです。一方で、金沢21世紀美術館に象徴されるように、独創性のある新たな文化の創造に挑戦し続けるまちでもあります。

また、山や海に囲まれ、四季を通じて新鮮な食材が容易に手に入るため食文化が豊かなまちとしても知られています。お越しいただいた際には、コミュニティ・スクール研究への熱い議論とあわせて、風情あるまちなみ、豊かな食といった、金沢の文化の魅力も感じていただきたいと思います。

全国コミュニティ・スクール連絡協議会の皆様をはじめ、コミュニティ・スクールに関わるすべての皆様にとって意義深い大会にできるよう準備を進めてまいります。皆様を心から歓迎申し上げますので、ぜひ金沢へお越しくださいますようお願い申し上げます。



## コミュニティ・スクールのこと、先行自治体に相談してみませんか

コミュニティ・スクール未導入・一部導入の当会非加盟自治体の教育長を対象に、相談窓口を実施しています。（文科省委託事業）。経験豊富な教育長と実際に情報交換をすることで、導入に向けた理解促進や不安点の解消などにご活用ください。

**相談に係る費用は無料ですが、当会の予算に限りがあります。お早めにご連絡ください（今年度は2月29日（木）まで）。**

（申込・お問合せ先） ☎0422-29-8349 ✉soudancs@gmail.com

詳細はこちら



## 「みんなで創ろうコミュニティ・スクール」書籍のご案内



学校、地域、教育委員会、議会への説明に最適！「みんなで創ろうコミュニティ・スクール」が悠光堂様から発売されました。設置までの具体的な手順や、関連制度の違いを Q&A 形式で教授や CS マイスター等が事例をもとに解説。コミュニティ・スクール導入のためのガイドとしてご活用いただけるような書籍となっております。編集代表である鈴木寛東京大学教授、貝ノ瀬滋当会会長による対談も含まれております。ぜひ、お手に取ってご覧ください。